

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		5500		3.利用用途別分類		市営住宅等施設									
2.施設名		平和が丘団地		4.利用圏域別分類		地域									
5.所在地(町名・番地)		平和が丘西町32-1ほか		15.設置根拠法令		公営住宅法									
6.バス停		県営住宅前(180m)		16.設置条例		宮崎市営住宅条例									
7.開設年月日		昭和45年3月31日		17.市の計画		運営開始は定まっていないが改築計画を検討中									
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)		18. 外観											
9.指定管理期間		令和03年4月1日～令和08年3月31日													
10.用途地域		第一種中高層住居専用地域													
11.財産区分		公共用													
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=30.2m		19. 内部	写真		写真								
13.主な利用者		入居者													
14.利用者駐車可能台数		147台		20.避難所の指定(標高)		— 30.20 m									
22. 土地情報		土地面積		7,672.55 m ²		24. 建物情報		総延床面積		4,984.56 m ²					
		現況地目		宅地				取得価額計(開始時簿価計)		— (—)					
		土地所有形態		所有				階数・構造(主たる建物)		地上5階・RC・鉄筋コンクリート					
		借受面積		0.00 m ²				建築年(主たる建物)		1971年					
23. 利用情報		(区分・単位)		令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)		対象					
				戸		前年比%		戸		前年比%					
		入居戸数		999		94.2		1,060		—		—			
		入居可能月数		12		100.0		12		—		—			
		利用率		—		—		—		—					
								建物所有状況		市有物件					
								借受面積		0.00 m ²					
								耐震対応(主たる建物)		対象外					
								未利用スペース		0 m ²					
25. 収入		(区分・単位)		令和2年度		平成31年度		(区分・単位)		令和2年度		平成31年度			
				千円		前年度比%		千円		前年度比%		千円		前年度比%	
		市の収入計① (②+③)		12,788		95.0		13,464		—		4,988		296.0	
		使用料(減免後)②		12,788		95.0		13,464		—		3,296		—	
		その他③		0		—		0		—		0		—	
		《参考》 使用料減免額④		0		—		0		—		1,692		100.4	
		指定管理者の収入計⑤		9,714		101.0		9,620		—		6,778		115.7	
		指定管理料⑥		9,709		100.9		9,620		—		3,757		126.7	
		利用料金収入		0		—		0		—		557		108.8	
		自主事業収入		0		—		0		—		0		—	
その他収入		5		—		0		—		2,464		103.5			
収入合計⑦		22,502		97.5		23,084		—		11,766		156.0			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		0		—		0		—		3,223		—			
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		12,793		95.0		13,464		—		1,909		△ 88.4			
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)		2,936		78.0		3,763		—		16		△ 56.7			
28.工事請負費・修繕費										3,223		—			
31. 市負担										市負担額⑩ (⑧-①+⑥)		1,909			
										市負担割合(%) (⑩÷⑩)		16			
32.施設所管課		建築住宅課		33.施設主管課		建築住宅課									

(2)施設評価シート

1.台帳番号	5500	3.利用用途別分類	市営住宅等施設																														
2.施設名	平和が丘団地	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																														
	品質評価の評価(偏差値)		41.7																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.4																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>49.500 年</td> <td>33.8</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>0.800 件</td> <td>53.3</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>53.5</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>2.000 点</td> <td>24.8</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.600 件</td> <td>42.9</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	49.500 年	33.8	29.300 年	劣化度数(棟平均)	0.800 件	53.3	1.500 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	クレーム点数	2.000 点	24.8	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	1.600 件	42.9	0.700 件	評価値		41.7			
		評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	49.500 年	33.8	29.300 年																												
		劣化度数(棟平均)	0.800 件	53.3	1.500 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点																												
		クレーム点数	2.000 点	24.8	4.500 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	1.600 件	42.9	0.700 件																														
評価値		41.7																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月あたり入居戸数</td> <td>83.000 戸</td> <td>51.7</td> <td>67.000 戸</td> </tr> <tr> <td>入居率</td> <td>76.400 %</td> <td>42.6</td> <td>85.600 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.523</td> <td>68.1</td> <td>0.150</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>54.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	月あたり入居戸数	83.000 戸	51.7	67.000 戸	入居率	76.400 %	42.6	85.600 %	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.523	68.1	0.150	評価値		54.1	
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																														
月あたり入居戸数	83.000 戸	51.7	67.000 戸																														
入居率	76.400 %	42.6	85.600 %																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量	0.523	68.1	0.150																														
評価値		54.1																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>16.220 %</td> <td>43.3</td> <td>-69.561 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>0.383 千円</td> <td>50.4</td> <td>0.767 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1.911 千円</td> <td>46.3</td> <td>-3.969 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>46.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	16.220 %	43.3	-69.561 %	市負担額(ソフト)前年度比				建物1㎡当たりの市負担額	0.383 千円	50.4	0.767 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	1.911 千円	46.3	-3.969 千円	評価値		46.7					
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																														
市負担割合	16.220 %	43.3	-69.561 %																														
市負担額(ソフト)前年度比																																	
建物1㎡当たりの市負担額	0.383 千円	50.4	0.767 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	1.911 千円	46.3	-3.969 千円																														
評価値		46.7																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	5500	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	平和が丘団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点未満だが、供給・財務評価については平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数(棟平均)、クレーム点数 【原因】建築後、相当年数が経っている 【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】対応した建て方をしていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】稼働率 【原因】修繕予定のため入居していない部屋が一定数ある	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、利用量当たりの市負担額 【原因】市の収入に対し、修繕費等の市の支出が多い	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全域に住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団大宮分団第4部消防団車庫、消防局平和台無線中継局舎、宮崎市消防団瓜生野分団第1部消防団車庫、宮崎市平和ヶ丘児童センター、池内小学校、池内団地、東町街区公園、南街区公園、平和が丘公園、西町街区公園、大淀川学習館、池内小学校	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	市営住宅(池内団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	県営住宅(池内団地、平和ヶ丘団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】15.8億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	5500	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	平和が丘団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「改修・更新」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において団地別・住棟別の活用方針を定め、適正な戸数管理や将来にわたる事業費の平準化を踏まえながら、建物の長寿命化を推進することによりライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	改修・更新	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、老朽化しており、建て替えを実施するため改修・更新とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	従来型の直接建設方式による建て替えだけでなく、民間賃貸住宅の借上げやPFI事業等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅については、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、既存の耐火構造の建物については建替えを実施するため、機能の評価も継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	8420	3.利用用途別分類	図書館・展示施設				
2.施設名	大淀川学習館	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.所在地(町名・番地)	下北方町5348-1	15.設置根拠法令					
6.バス停	大淀川学習館前(150m)	16.設置条例	大淀川学習館条例				
7.開設年月日	平成07年3月28日	17.市の計画	施設のあり方を検討中				
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人 宮崎文化振興協会)	18. 外観					
9.指定管理期間	令和02年4月1日～令和05年3月31日		19. 内部				
10.用途地域	第二種住居地域						
11.財産区分	公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市制70周年記念事業の一つとして、また、大淀川浄化活動(市民運動)及び大淀川学習のシンボリックな施設として建設された。さらに、平成14年度の「水辺の楽校」、「里山の楽校」の整備により、「大淀川学習館」との3施設一体の総合的体験学習施設となっている。施設運営に支障をきたす不具合は生じていないが、近い将来、経年劣化による空調設備の不具合が想定される。						
13.主な利用者	小学生以下の子どもと保護者(宮崎市民以外も利用可能)	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	11.00 m			
14.利用者駐車可能台数	148台	21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	14,390.90 m ²					
	現況地目	宅地					
	土地所有形態	所有					
	借受面積	0.00 m ²					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		
	利用者数	52,759	29.7	177,860	-		
	開館日数	240	84.5	284	-		
	利用率	220	35.1	626	-		
24. 建物情報	総延床面積	2,880.04 m ²					
	取得価額計(開始時簿価計)	1315744千円 (-)					
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート					
	建築年(主たる建物)	2002年					
	法定点検(主たる建物)	対象					
	建物所有状況	市有物件					
	借受面積	0.00 m ²					
	耐震対応(主たる建物)	対応済					
	未利用スペース	0 m ²					
	25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		
千円			前年度比%	千円	前年度比%		
市の収入計①(②+③)		193	86.5	223	-		
使用料(減免後)②		0	-	0	-		
その他③		193	86.5	223	-		
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-		
指定管理者の収入計⑤		79,351	99.4	79,799	-		
指定管理料⑥		79,278	99.8	79,469	-		
利用料金収入		0	-	0	-		
自主事業収入		53	-	0	-		
その他収入	20	6.1	330	-			
収入合計⑦	79,544	99.4	80,022	-			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	-						
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	266	48.1	553	-			
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	2,492	121.9	2,045	-			
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度			
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	市の支出計⑧(指定管理料除く)	34,187	142.4	24,007	-		
	施設のコスト	30,437	150.3	20,257	-		
	事業のコスト	0	-	0	-		
人に係るコスト	3,750	100.0	3,750	-			
指定管理者の支出計⑨	76,859	98.8	77,754	-			
施設のコスト	37,938	98.1	38,656	-			
自主事業以外のコスト	3,419	98.2	3,480	-			
自主事業のコスト	0	-	0	-			
人に係るコスト	35,502	99.7	35,618	-			
支出合計⑩	111,046	109.1	101,761	-			
28.工事請負費・修繕費	30,437	150.3	20,257	-			
31. 市負担額⑪(⑧-①+⑥)	113,272	109.7	103,253	-			
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	102	100.5	101	-			
32.施設所管課	生涯学習課	33.施設主管課	生涯学習課				

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8420	3.利用用途別分類	図書館・展示施設		
2.施設名	大淀川学習館	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C		
	品質評価の評価(偏差値)		53.9		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		48.9		
①品質評価 劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	21.000 年	56.7	29.300 年
		劣化度数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
		評価値		53.9	
②供給評価 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	220.000 人	50.6	207.000 人
		建物1㎡当たりの利用率	0.076 人	51.8	0.067 人
		建物1㎡当たりの利用率	台		台
		土地1㎡当たりの利用率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	0.466	47.9	0.585
		評価値		50.1	
③財務評価 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		市負担割合	102.000 %	50.9	105.259 %
		市負担額(ソフト)前年度比	99.800 %	47.8	93.030 %
		建物1㎡当たりの市負担額	39.330 千円	38.1	24.726 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	2.147 千円	53.6	2.856 千円
		評価値		47.6	
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	8420	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	大淀川学習館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質の評価指標は高いが、供給・財務評価の指標は低い。平成7年に建築され、25年以上が経過し、施設の経年劣化が生じている。入館料未徴収の施設であることが財務評価の低い要因であると考えられる。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均) 【原因】建築から25年以上が経過し、経年劣化が生じているため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】コロナウイルス感染拡大防止に伴う閉館期間があり、利用者数が減少したため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合・建物1㎡当たり市負担額 【原因】入場料無料施設であり、運営経費全てが指定管理料によって賄われているため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	自然学習・体験学習の場として、幼児から小中学生、家族が利用するとともに、憩いや癒しの場としても高齢者を含む広範な世代に利用されている施設である。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	消防局平和台無線局中継局舎、宮崎市消防団瓜生野分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団大宮分団第5部消防団車庫、小松浄化第2施設、五十鈴川排水ポンプ場、平和が丘団地、西町街区公園、南街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎科学技術館、宮崎市立図書館、みやざきアートセンター、宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市安井息軒記念館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館、宮崎市佐土原歴史資料館、佐土原総合文化センター(佐土原図書館)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	宮崎県立図書館、宮崎県立美術館、宮崎県立博物館	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道宮崎・須木線の開い相生橋から1km程度南東に位置しており、施設前にバス停留所(大淀川学習館前)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2070年代 【建て替えの事業費(概算)】11.0億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	令和3年度に指定管理者及び施設(大淀川学習館)の包括外部監査が実施された。一部、施設に対し契約についての指摘事項があったが、見直しを行った。	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	8420	利用用途別分類	図書館・展示施設
施設名	大淀川学習館	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 52ページ参照)	
16	総合評価(総括)	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
18	建物の評価の理由	将来的に大規模改修を要するなどの現状がある中、庁舎移転の検討結果次第では関連施設と合わせて今後のあり方を検討し、状況を見極めながら、建物管理や施設整備等に取り組む必要があるため。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	各教育施設の老朽化が進む中、施設単独での修繕更新費用の削減は困難であることから、各施設の修繕更新計画の集約及び当総合評価に基づく所管施設の整理等において、総額削減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和6年度までに施設のあり方を検討する。	
21	機能の評価の理由	幅広い世代が施設学習に取り組み、教育施設としての役割を果たしている中、庁舎移転の検討結果次第では関連施設と合わせて今後のあり方を検討し、状況を見極めながら、施設機能の強化を図る必要があるため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	業務委託内容を精査し、指定管理料の削減について検討する。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90140			3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設					
2.施設名	宮崎市平和が丘児童プール			4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	平和が丘西町20-6			15.設置根拠法令	児童福祉法					
6.バス停				16.設置条例	宮崎市児童プール条例					
7.開設年月日	昭和48年7月15日			17.市の計画	施設のあり方を検討中					
8.施設運営形態(指定管理者)	直営			18. 外観						
9.指定管理期間										
10.用途地域	第一種低層住居専用地域									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。住宅地の中にあり、平和が丘児童公園に隣接している。標高31.1m。			19. 内部						
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童				20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m				
14.利用者駐車可能台数	0台			21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	693.00 m ²			24. 建物情報	総延床面積	213.20 m ²			
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	4276千円 (—)			
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	1973年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	—	—	1,592	—	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	—	—	37	—	耐震対応(主たる建物)	—			
利用率	—	—	43	—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	139	26.8	519	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	977	41.6	2,347	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	47	3.5	1,359	—
	その他③	139	26.8	519	—	事業のコスト	180	75.6	238	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	139	26.8	519	—	支出合計⑩	977	41.6	2,347	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	0	0.0	382	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	139	26.8	519	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	838	45.8	1,828	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	86	110.1	78	—	
32.施設所管課	子育て支援課			33.施設主管課	子育て支援課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90140	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設				
2.施設名	宮崎市平和が丘児童プール	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				D		
	品質評価の評価(偏差値)				38.6		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				43.3		
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	47.000 年	35.8	29.300 年	
			劣化度点数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件	
			耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.8	4.800 点	
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	2.700 件	34.2	0.700 件	
評価値			38.6				
② 供給評価	② 供給評価 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			日あたり利用者数		人		人
			建物1㎡当たりの利用率		人		人
			建物1㎡当たりの利用率		台		台
			土地1㎡当たりの利用率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量	0.000		43.5	0.580
評価値			43.5				
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			市負担割合	85.770 %	45.8	77.618 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	58.000 %	53.6	83.674 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	139.667 千円	29.9	45.087 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額				
			利用量当たりの市負担額				
評価値			43.1				
品質評価の分布図							
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)							

(2)施設評価シート

		令和3年度施設評価	令和3年度
台帳番号	90140	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市平和が丘児童プール	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 D】①昭和48年に建築され築後48年が経過し、耐震化やバリアフリー化されていないため、品質の評価が低い。②令和2年度は施設を閉鎖していたため、供給の評価が低い。③利用料の徴収をしておらず、運営費のほとんどを市が負担しているため、財務の評価が低い。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数【原因】築後48年経過している。②【評価指標】劣化度数【原因】予算不足により修繕対応が後回しになっている。③【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。④【評価指標】バリアフリー【原因】バリアフリー化されていない箇所がある。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】プール維持のための人件費等のコストがかかっているが、新型コロナウイルス感染症対策として閉鎖していたため、利用量がない。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	①【評価指標】市負担割合【原因】利用料の徴収をしていない上、国や県の補助制度がないため、ほとんどを市の一般財源にて負担している。 ②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】利用料の徴収をしていない上、国や県の補助制度がないため、ほとんどを市の一般財源にて負担している。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ利用用途の施設(児童プール)が市内に15箇所点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団大宮分団第4部消防団車庫、消防局平和台無線中継局舎、宮崎市消防団瓜生野分団第1部消防団車庫、宮崎市平和ヶ丘児童センター、池内小学校、池内団地、平和が丘団地、東町街区公園、南街区公園、平和が丘公園、西町街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市平和ヶ丘児童センター、池内小学校、大宮小学校、大宮中学校、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、池内小学校(給食室)、大宮小学校(給食室)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道宮崎高鍋線の平和が丘団地入口から南西約400mの住宅街の中に位置している。周辺道路は狭い。施設から約150mの場所にバス停(平和が丘団地)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市人口 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。②県内で設置している市 都城市(2ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所)③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	90140	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市平和が丘児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。機能の評価は「継続」とし、「質の向上」の取り組みとして、利用者の増加を図るとともに、今後も施設の目的や成果を達成できるよう、全体的な施設のあり方について令和4年度までに検討していく。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低いが、計画的な修繕・保守を行うことにより、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、築後48年を経過し老朽化も進んでいるため、令和4年度までに、施設のあり方について検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの維持管理費の削減に努めてきた。今後、児童プールの統合、近隣の水泳施設(小学校プール、民間プール等)の活用、保育園等への管理委託等について検討していく。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		8430		3.利用用途別分類		集会施設					
2.施設名		宮崎市大宮公民館		4.利用圏域別分類		地域					
5.所在地(町名・番地)		下北方町6101		15.設置根拠法令		社会教育法					
6.バス停		平和台(180m)		16.設置条例		宮崎市公民館条例					
7.開設年月日		昭和56年4月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観							
9.指定管理期間											
10.用途地域		第一種低層住居専用地域			19. 内部						
11.財産区分		公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		<p>「1中学校区に1館」の整備方針のもと、設置しており、地域の生涯学習の場及び地域まちづくりや災害時の拠点として活用されている。しかし、エレベーターがない2階建ての建物であり、バリアフリー対策が不完全である。経年劣化も見られるため、「宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画」に基づき、適切な維持管理に取り組む。</p>									
13.主な利用者		地域住民		20.避難所の指定(標高)		指定避難所 15.50 m					
14.利用者駐車可能台数		41台		21.投票所の指定		無					
22. 土地情報	土地面積	2,119.57 m ²				24. 建物情報	総延床面積	894.26 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	114480千円 (－)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1981年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	12,460	56.0	22,268	－	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	226	70.6	320	－	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	55	79.2	70	－	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	51	67.1	76	－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	13,667	90.4	15,126	－
	使用料(減免後)②	6	21.4	28	－		施設のコスト	7,601	87.9	8,645	－
	その他③	45	93.8	48	－		事業のコスト	366	46.9	781	－
	《参考》 使用料減免額④	2,351	101.5	2,316	－		人に係るコスト	5,700	100.0	5,700	－
	指定管理者の収入計⑤	0	－	0	－		指定管理者の支出計⑨	0	－	0	－
	指定管理料⑥	0	－	0	－		施設のコスト	0	－	0	－
	利用料金収入	0	－	0	－		自主事業以外のコスト	0	－	0	－
	自主事業収入	0	－	0	－		自主事業のコスト	0	－	0	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	0	－	0	－		
収入合計⑦	51	67.1	76	－	支出合計⑩	13,667	90.4	15,126	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	101.0	99	－	28.工事請負費・修繕費	305	22.8	1,340	－		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	51	67.1	76	－	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	13,616	90.5	15,050	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	－	0	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.1	99	－		
32.施設所管課	地域コミュニティ課			33.施設主管課	地域コミュニティ課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8430	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市大宮公民館	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A				
	品質評価の評価(偏差値)		51.2				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.0				
①品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	39.000	年	42.2	29.300	年
		劣化度数(棟平均)	1.500	件	50.0	1.500	件
		耐震対応(棟平均)	5.000	点	53.5	4.800	点
		クレーム点数	5.000	点	55.0	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000	件	55.5	0.700	件
			評価値	51.2			
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	55.000	人	50.1	55.000	人
		稼働率	39.200	%	58.7	26.500	%
		建物1㎡当たりの利用量率	0.062	人	53.6	0.051	人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	0.915	51.6	0.796	
			評価値	53.5			
③財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
		市負担割合	99.630	%	44.7	98.357	%
		市負担額(ソフト)前年度比	97.100	%	52.6	101.965	%
		建物1㎡当たりの市負担額	15.226	千円	52.2	17.185	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	1.093	千円	52.3	4.765	千円
			評価値	50.5			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価		令和3年度
台帳番号	8430	利用用途別分類 集会施設
施設名	宮崎市大宮公民館	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	品質評価・供給評価・財務評価ともに平均点以上である。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】建築後40年経過
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担割合 【原因】施設の使用料を徴収しているものの、減免での使用が多くを占めており、使用料収入が少額となっているため。
5	定性的な要素の分析(総括)	「1中学校区に1館」の整備方針のもと、公立公民館等を設置している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	大宮地域事務所、宮崎市消防団大宮分団第6部消防団車庫、児童クラブ(大宮小学校)、大宮小学校、大宮小学校給食室、宮崎市平和が丘児童センター、大宮中学校、神宮ふれあい広場、下北方街区公園、矢の先街区公園、祇園街区公園、宮崎市消防団大宮分団第9部消防団車庫
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市北部老人福祉センター、宮崎市青少年プラザ
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	下北方の平和台の南側麓の住宅街に位置し、接道は狭小で車の離合等には注意が必要である。県道下北方古墳線まで約150m、バス停が施設から180mの場所に設置されているなど交通事情は良好である。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】4億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	8430	利用用途別分類	集会施設
施設名	宮崎市大宮公民館	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物・機能の評価はともに「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画に基づき適切な維持・管理に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、市負担額を削減するため、使用料や減免対象の見直しの検討に取り組む。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	築年数は平均以下ではあるが、宮崎市公立公民館等整備及び長寿命化計画に基づく適切な維持管理がなされているため、建物の評価は継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	定期的かつ計画的に改修・修繕を行い、施設の長寿命化に取り組む。また、技術主管課の指導を仰ぎ、不具合箇所の早期発見に努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市負担割合の評価は低いが、稼働率の評価は平均以上であり、生涯学習及び地域活動の拠点としての役割に加え、避難所としての機能も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外るとき	受益者負担の考えのもと施設の使用料や減免対象の見直しの検討に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		625		3.利用用途別分類		庁舎等施設				
2.施設名		宮崎市大宮地域事務所		4.利用圏域別分類		地域				
5.所在地(町名・番地)		下北方町6101		15.設置根拠法令		地方自治法				
6.バス停				16.設置条例		宮崎市地域自治区の設置等に関する条例				
7.開設年月日		平成21年11月9日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観						
9.指定管理期間										
10.用途地域		第一種低層住居専用地域			19. 内部					
11.財産区分		公用								
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		大宮地域において、地域の要望調整などの地域振興業務、地域協議会の支援を担うため設置した。(地方自治法第202条の4第1項)								
13.主な利用者		大宮地域自治区内に居住する市民		20.避難所の指定(標高)		— 0.00 m				
14.利用者駐車可能台数		36台		21.投票所の指定		無				
22. 土地情報	土地面積	1,414.77 m ²				24.建物情報		総延床面積	129.20 m ²	
	現況地目	宅地						取得価額計(開始時簿価計)	20317千円 (—)	
	土地所有形態	所有						階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート	
	借受面積	0.00 m ²						建築年(主たる建物)	2009年	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度				法定点検(主たる建物)	未対象	
		—	前年比%	—	前年比%			建物所有状況	市有物件	
	—	—	—	—			借受面積	0.00 m ²		
	—	—	—	—			耐震対応(主たる建物)	対応済		
—	—	—	—			未利用スペース	0 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	18,007	102.8	17,515	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト	672	284.7	236	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト	435	114.8	379	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	16,900	100.0	16,900	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	18,007	102.8	17,515	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費		34	—	0	—
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0		0		31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		18,007	102.8	17,515	—
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		市負担割合(%) (⑪÷⑩)		100	100.0	100	—
32.施設所管課		地域コミュニティ課		33.施設主管課		地域コミュニティ課				

(2)施設評価シート

1.台帳番号	625	3.利用用途別分類	庁舎等施設			
2.施設名	宮崎市大宮地域事務所	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C			
	品質評価の評価(偏差値)		56.2			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		48.6			
①品質評価	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	11.000 年	64.7	29.300 年	
		劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.4	1.500 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件	
		評価値		56.2		
②供給評価	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
		建物1㎡当たりの利用量率		人	人	
		建物1㎡当たりの利用量率		台	台	
		土地1㎡当たりの利用量率		人	人	
		市負担額千円当たりの利用量				
				評価値		#DIV/0!
③財務評価	指標の結果	市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
		市負担割合	100.000 %	43.9	94.559 %	
		市負担額(ソフト)前年度比	102.600 %	49.3	101.777 %	
		建物1㎡当たりの市負担額	139.373 千円	52.7	178.737 千円	
		土地1㎡当たりの市負担額				
		利用量当たりの市負担額				
		評価値		48.6		
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	625	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	宮崎市大宮地域事務所	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	大宮地域自治区の事務所として設置するもので、地域自治区の拠点施設としての役割を果たすべく、施設等の維持管理に費用を要するためC判定である。削減できるコストに関してはできる限り削減をしていく。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、市負担額(ソフト)前年度比 【原因】地域自治区の事務所として設置しており、収入はないが、維持管理に費用を要するため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市内全域に同じ利用用途の施設が点在しているが、各地域の拠点として不可欠である。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	大宮公民館、宮崎市消防団大宮分団第6部消防団車庫、児童クラブ(大宮小学校)、大宮小学校、大宮小学校給食室、宮崎市平和が丘児童センター、大宮中学校、神宮ふれあい広場、下北方街区公園、矢の先街区公園、祇園街区公園、宮崎市消防団大宮分団第9部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道下北方古墳線から約600m北部に位置しており、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	625	利用用途別分類	庁舎等施設
施設名	宮崎市大宮地域事務所	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組としては、施設の修繕更新費用を削減するため計画的に修繕する。 「質の向上」の取組みとしては、削減できるコストに関しては出来るかぎり削減をしていく。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	現在大きな不具合は発生しておらず、各評価値も平均以上であるため、現サービスの継続を前提として建物は継続する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	建物の将来の修繕更新費用を削減するための計画的な保全を行う。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	財務面が平均点未満となっているが、大宮地域自治区の事務所として設置しており、地域の拠点として重要な役割を果たしているため機能を継続する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	当施設に係るコストは人件費と施設の管理運営に伴う委託料等の最低限の費用であるため大幅な削減は困難であるが、消耗品など事業運営にかかる費用を出来る限り削減することに努める。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号	970	3.利用用途別分類	その他施設		
2.施設名	宮崎みたま園	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	池内町3901	15.設置根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律		
6.バス停	池内(950m)	16.設置条例	宮崎市墓地及び納骨堂の設置等に関する条例		
7.開設年月日	昭和50年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(ビー・アイ・ケーみたま)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	平成29年4月1日～令和04年3月31日				
10.用途地域	その他		19. 内部	 	
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	人口および核家族数の増加に伴い、墓地数の需要が見込まれていたことから、市の郊外に設置した。(全区画数11,050に対して利用済区画数は9,659令和3年4月1日現在)				
13.主な利用者	市民	20.避難所の指定(標高)	— 45.80 m		
14.利用者駐車可能台数	276台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	221,440.96 m ²			
	現況地目	墓地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		—	前年比%	—	前年比%
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
24. 建物情報	総延床面積	128.84 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	61356千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1990年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		42,053	109.7	38,330	—
使用料(減免後)②		15,297	127.5	12,000	—
その他③		26,756	101.6	26,330	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		22,681	101.2	22,404	—
指定管理料⑥		22,413	101.1	22,159	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		268	109.4	245	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	64,734	106.6	60,734	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	21,988	119.6	18,382	—
	施設のコスト	9,611	202.0	4,757	—
	事業のコスト	1,127	47.5	2,375	—
	人に係るコスト	11,250	100.0	11,250	—
	指定管理者の支出計⑨	22,682	101.2	22,404	—
	施設のコスト	16,905	101.0	16,739	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	268	109.4	245	—
人に係るコスト	5,509	101.6	5,420	—	
支出合計⑩	44,670	109.5	40,786	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	
28.工事請負費・修繕費	3,828	104.2	3,675	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	42,321	109.7	38,575	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△1	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,348	106.2	2,211	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	5	97.0	5	—
32.施設所管課	環境政策課	33.施設主管課	環境政策課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	970	3.利用用途別分類	その他施設																												
2.施設名	宮崎みたま園	4.利用圏域別分類	広域・市域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		47.1																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.7																												
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>31.800 年</td> <td>48.0</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>0.300 件</td> <td>55.7</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.300 点</td> <td>41.3</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>3.000 点</td> <td>34.9</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.5</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>47.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	31.800 年	48.0	29.300 年	劣化度点数(棟平均)	0.300 件	55.7	1.500 件	耐震対応(棟平均)	4.300 点	41.3	4.800 点	クレーム点数	3.000 点	34.9	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件	評価値		47.1	
		評価指標	令和2年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	31.800 年	48.0	29.300 年																										
		劣化度点数(棟平均)	0.300 件	55.7	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	4.300 点	41.3	4.800 点																										
		クレーム点数	3.000 点	34.9	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件																												
評価値		47.1																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>#DIV/0!</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量				評価値		#DIV/0!							
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量																															
評価値		#DIV/0!																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>5.260 %</td> <td>62.5</td> <td>76.608 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>18.224 千円</td> <td>50.9</td> <td>30.446 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>56.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	5.260 %	62.5	76.608 %	市負担額(ソフト)前年度比				建物1㎡当たりの市負担額	18.224 千円	50.9	30.446 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額				評価値		56.7			
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
市負担割合	5.260 %	62.5	76.608 %																												
市負担額(ソフト)前年度比																															
建物1㎡当たりの市負担額	18.224 千円	50.9	30.446 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額																															
評価値		56.7																													
品質評価の分布図																															
供給評価・財務評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	970	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎みたま園	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	開設から44年経過しており、施設も老朽化しているが、利用者も多いことから今後も現状のまま経過していく。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数 【原因】管理事務所は44年、トイレは29年ほど経過している。墓地の個人管理 区画内の雑草についてのクレームが多い。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に市営墓地は点在しているが、11, 050区画と最大の区画数を所持し、市全体に墓地を共有し ている。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	なし	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎南部墓地公園、佐土原墓地公園、龍福寺暮園、木原墓地	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	民間墓地: 宮崎霊園 他702施設	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	最寄の停留所は池内で、停留所から宮崎みたま園までは徒歩で10~20分ほどかかる。毎年、お盆 は4日間、春と秋のお彼岸は3~4日間、1日3往復の臨時バスを運行する予定。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【立替の事業費(概算)】0.4億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	包括外部監査の指摘等は特になし。	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	970	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎みたま園	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	地区44年経過し、外壁が劣化しているが、修繕を行うことにより問題なく利用することが可能。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全に務める。修繕が必要である場合は迅速な対応に務め、大規模な修繕にならないようにする。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	今後の墓地需要や現在の墓地使用者に応えるために継続して適正に維持管理する必要がある。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	使用者からの管理料を財源としながら適正な維持管理に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		90740		3.利用用途別分類		その他施設					
2.施設名		宮崎市自動車排出ガス測定局 大宮小学校測定局		4.利用圏域別分類		広域・市域					
5.所在地(町名・番地)		下北方町新地849番地		15.設置根拠法令		大気汚染防止法					
6.バス停				16.設置条例							
7.開設年月日		平成28年10月31日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観							
9.指定管理期間											
10.用途地域		第二種住居地域			19. 内部			写真			
11.財産区分		公用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		大気汚染防止法に基づく大気汚染の常時監視及び緊急時の円滑な運営を図る									
13.主な利用者		担当職員及び保守管理委託業者		20.避難所の指定(標高)		— 0.00 m					
14.利用者駐車可能台数		0台		21.投票所の指定		無					
22. 土地情報	土地面積	0.00 m ²		24. 建物情報	総延床面積	9.00 m ²					
	現況地目				取得価額計(開始時簿価計)	4212千円 (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート造					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	2016年					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度			平成31年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		—	前年比%		—	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	—	—	—		—	借受面積	0.00 m ²				
	—	—	—		—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	—	—	—		—	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度			平成31年度		26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円			前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0	—	0	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		905	97.7	926	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—	施設のコスト		155	88.1	176	—
	その他③	0	—	0	—	事業のコスト		0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト		750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨		0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト		0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト		0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	0	—	0	—	支出合計⑩	905	97.7	926	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費		0		—		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	0		—		31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	905		97.7		926	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		—		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100		100.0		100	
32.施設所管課	環境指導課			33.施設主管課	環境指導課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90740	3.利用用途別分類	その他施設				
2.施設名	宮崎市自動車排出ガス測定局 大宮小学校測定局	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C				
	品質評価の評価(偏差値)		53.6				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		49.2				
①品質評価	バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	4.000 年	70.3	29.300 年	
			劣化度数(棟平均)	0.000 件	57.1	1.500 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	31.9	0.700 件	
			評価値	53.6			
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			建物1㎡当たりの利用量率		人		人
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量				
						評価値	#DIV/0!
③財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
			市負担割合	100.000 %	45.9	76.608 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	97.700 %	52.4	103.245 %	
			建物1㎡当たりの市負担額		千円		千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円		千円
			利用量当たりの市負担額		千円		千円
			評価値	49.2			
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	90740	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市自動車排出ガス測定局 大宮小学校測定局	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価は平均以上であったが、財務評価において平均に満たず、評価指数はC判定であった。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指数】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】大気測定局舎であり、利用は保守管理者及び担当者のみであるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指数】市負担割合 【原因】大気測定局舎であるため一般の利用はなく、施設の使用料等の収入がないため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	大気測定局舎であるため一般の利用はない。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	大宮小学校、大宮小学校(給食室)、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、神宮ふれあい広 場、宮崎市消防団大宮分団第7部消防団車庫、下北方通線排水機場、東大宮小学校、東大宮小学 校(給食室)、児童クラブ(東大宮小学校・敷地内・校舎外)、雁ヶ音街区公園、桜町街区公園、花ヶ島 南街区公園、宮崎市消防団大宮分団第1部消防団車庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線沿い(大宮小学校敷地内)にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2090年代 【建て替えの事業費(概算)】200万円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	環境大気常時監視マニュアル(第6版)より、測定局舎は人が常時生活し、活動している場所で、自 動車排出ガスの影響が最も強く現れる道路端から10m程度以内に設置することが望ましい。	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	90740	利用用途別分類	その他施設
施設名	宮崎市自動車排出ガス測定局 大宮小学校測定局	利用圏域別分類	広域・市域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価及び機能の評価は「継続」とする。 大気汚染防止法に基づき大気汚染の状況を常時監視するため、今後も大気測定局舎として利用する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	大気汚染防止法に基づき大気汚染の状況を常時監視するため、今後も大気測定局舎として利用する。 平成28年10月に新築し築5年未満であるため、現在改修の予定はない。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	平成28年10月に新築し築5年未満であるため、現在改修の予定はない。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	大気汚染防止法に基づき大気汚染の状況を常時監視するため、今後も大気測定局舎として利用する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	エアコン及び照明の省エネ機器への更新	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	4100	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設				
2.施設名	宮崎市平和が丘児童センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.所在地(町名・番地)	池内町594-5	15.設置根拠法令	児童福祉法				
6.バス停	平和が丘西町(370m)	16.設置条例	宮崎市児童館条例				
7.開設年月日	昭和57年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(社会福祉法人 宮崎市社会福祉事業団)	18. 外観					
9.指定管理期間	平成28年4月1日～令和03年3月31日		19. 内部				
10.用途地域	第一種低層住居専用地域						
11.財産区分	公共用						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	地域の子どもたちや子育て中の親子が自由に来館し、安心して遊べる施設であり、「遊びイベント」、「地域団体等と連携した交流事業」、「子育て交流広場」などを行うなど、児童の健全育成に努めている。築38年を経過しており、外壁や内壁などに経年劣化が見られる。						
13.主な利用者	児童(満18歳に満たない者)	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	26.00 m			
14.利用者駐車可能台数	15台	21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	1,620.44 m ²					
	現況地目	宅地					
	土地所有形態	所有					
	借受面積	0.00 m ²					
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		
	利用者数	3,272	63.6	5,144	-		
	開館日数	237	87.5	271	-		
	利用率率	14	72.6	19	-		
24. 建物情報	総延床面積	307.87 m ²					
	取得価額計(開始時簿価計)	37570千円 (-)					
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート					
	建築年(主たる建物)	1982年					
	法定点検(主たる建物)	対象					
	建物所有状況	市有物件					
	借受面積	0.00 m ²					
	耐震対応(主たる建物)	対応済					
	未利用スペース	0 m ²					
	25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		
市の収入計① (②+③)		2,185	419.4	521	-		
使用料(減免後)②		0	-	0	-		
その他③		2,185	419.4	521	-		
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-		
指定管理者の収入計⑤		8,674	108.8	7,973	-		
指定管理料⑥		7,991	100.2	7,973	-		
利用料金収入		0	-	0	-		
自主事業収入		0	-	0	-		
その他収入	683	-	0	-			
収入合計⑦	10,859	127.8	8,494	-			
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度			
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	7,363	409.3	1,799	-		
	施設のコスト	6,497	695.6	934	-		
	事業のコスト	116	100.9	115	-		
	人に係るコスト	750	100.0	750	-		
	指定管理者の支出計⑨	8,674	108.8	7,973	-		
	施設のコスト	715	63.4	1,127	-		
	自主事業以外のコスト	885	-	0	-		
	自主事業のコスト	0	0.0	334	-		
人に係るコスト	7,074	108.6	6,512	-			
支出合計⑩	16,037	164.1	9,772	-			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	-	-	-	-			
28.工事請負費・修繕費	5,801	-	0	-			
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	2,868	550.5	521	-			
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	-	0	-			
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	13,169	142.4	9,251	-		
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	82	86.7	95	-		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課			

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4100	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市平和が丘児童センター	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		C																												
	品質評価の評価(偏差値)		51.0																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		45.9																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>37.400 年</td> <td>43.5</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>47.6</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>53.5</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.0</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.5</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	37.400 年	43.5	29.300 年	劣化度数(棟平均)	2.000 件	47.6	1.500 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件	評価値		51.0	
			評価指標	令和2年度	偏差値	平均																									
			築年数(棟平均)	37.400 年	43.5	29.300 年																									
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	47.6	1.500 件																									
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点																									
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点																									
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件																												
評価値		51.0																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>14.000 人</td> <td>42.1</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.248</td> <td>46.3</td> <td>0.580</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>44.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	14.000 人	42.1	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.248	46.3	0.580	評価値		44.2				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	14.000 人	42.1	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.248	46.3	0.580																												
評価値		44.2																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>82.120 %</td> <td>47.7</td> <td>77.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>79.600 %</td> <td>50.6</td> <td>83.674 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>42.775 千円</td> <td>50.5</td> <td>45.087 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>4.025 千円</td> <td>41.6</td> <td>2.217 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>47.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	82.120 %	47.7	77.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	79.600 %	50.6	83.674 %	建物1㎡当たりの市負担額	42.775 千円	50.5	45.087 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	4.025 千円	41.6	2.217 千円	評価値		47.6				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
市負担割合	82.120 %	47.7	77.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	79.600 %	50.6	83.674 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	42.775 千円	50.5	45.087 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	4.025 千円	41.6	2.217 千円																												
評価値		47.6																													
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図																													

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価		令和3年度
台帳番号	4100	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市平和が丘児童センター	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標 C】利用者数が少なく、供給評価が低いために、財務評価も低くなっている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数【原因】築37年を経過しており、評価が低い。 【評価指標】劣化度数【原因】経年劣化により建物屋上の防水層が剥がれており、外壁等のひび割れ及びコーキング材の劣化等が原因で雨漏りが発生しているため評価が低い。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】施設利用者のうち小学生が占める割合が高い施設であるが、団地内の奥まった場所に立地しているために、利用者数が少ない。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用料を徴収しない施設である且つ、利用者が少ないために利用量の評価が低い。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】国や県の運営費補助制度がない(国は地方交付税措置化)ため、指定管理料等のほとんどを市の一般財源にて負担している。 【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用量が少ないために評価が低い。
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ用途の施設(児童館・児童センター、地区交流センター)が概ね中学校区に一つ整備されている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市消防団大宮分団第4部消防団車庫、消防局平和台無線中継局舎、池内小学校、池内団地、平和が丘団地、東町街区公園、南街区公園、平和が丘公園、西町街区公園、宮崎市大宮公民館、池内小学校
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	池内小学校、大宮小学校、大宮中学校、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、池内小学校(給食室)、大宮小学校(給食室)、平和が丘児童プール
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所(風水害・地震・津波)
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	池内小学校正門から南に約400m、平和台公園入口から北東に約200mの位置にあり、施設から約370mの場所にバス停(平和が丘西町)が設置されている。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060-2080代 【建て替えの事業費(概算)】1.2億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では、特に指摘はない。 【児童館・児童センターの設置状況】 ○県内 県内に75施設(うち9施設は休止中)あり、宮崎市が24施設(地区交流センター7施設を含む)、都城市が14施設(民設民営1施設を含む)、三股町が9施設(うち2施設は休止中)延岡市が7施設(民設民営5施設を含む) ○中核市 秋田市が42施設(小学校と同数)と最も多く、設置のない市もある。児童館を設置している中核市の平均は9施設。

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4100	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市平和が丘児童センター	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価、機能の評価とも「継続」とする。「総量の最適化」の取組として、将来の修繕更新費用を削減するため、計画的に予防保全型の修繕を行い、施設の長寿命化を図る。「質の向上」として、市と指定管理者が連携し、施設管理費の削減や事業内容の充実に努める。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数の評価が低くなっているが、計画的な予防保全型の修繕に努め、長寿命化を図りながら、児童健全育成の拠点として当面は本施設を継続する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	建物及び設備を計画的に保全することにより、修繕更新費の削減に努める。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	児童健全育成の拠点施設として児童の安心・安全な居場所となっていることに加え、子育て交流ひろばや育児相談等の対応を行うなど地域の子育て支援施設としても機能する重要な施設となっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取り組み ※20が「廃止」以外するとき	運営費や指定管理料の見直しを行うなど、市負担額の削減に努める。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	5390	3.利用用途別分類	市営住宅等施設															
2.施設名	池内団地	4.利用圏域別分類	地域															
5.所在地(町名・番地)	池内町912-1ほか	15.設置根拠法令	公営住宅法															
6.バス停	市営池内団地(60m)	16.設置条例	宮崎市営住宅条例															
7.開設年月日	昭和54年3月30日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する															
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎市営住宅管理センター)	18. 外観																
9.指定管理期間	令和03年4月1日～令和08年3月31日																	
10.用途地域	第一種中高層住居専用地域																	
11.財産区分	公共用																	
12.施設概要(設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(公営住宅法第1条)H=39.4m						19. 内部	写真		写真								
13.主な利用者	入居者	20.避難所の指定(標高)	-		44.30 m													
14.利用者駐車可能台数	318台	21.投票所の指定	無															
22. 土地情報	土地面積	29,539.01 m ²				24. 建物情報						総延床面積	17,140.80 m ²					
	現況地目	宅地										取得価額計(開始時簿価計)	-					
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上5階・RC・鉄筋コンクリート										
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1979年										
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度								
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%							
	入居戸数	2,269	95.1	2,387	-			市の収入計①(②+③)	52,349	65.8	79,584	-	26. 支出	市の支出計⑧(指定管理料除く)	7,570	10.7	70,533	-
	入居可能月数	12	100.0	12	-			使用料(減免後)②	52,349	95.7	54,684	-		施設のコスト	3,650	5.5	66,629	-
利用率	-	-	-	-	その他③	0	0.0	24,900	-	事業のコスト	0	-		0	-			
借受面積	0.00 m ²				《参考》 使用料減免額④	0	-	0	-	人に係るコスト	3,920	100.4		3,904	-			
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度								
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%							
		指定管理者の収入計⑤	22,504	101.0	22,286			-	指定管理者の支出計⑨	17,852	92.3	19,338	-					
		指定管理料⑥	22,492	100.9	22,285			-	施設のコスト	10,855	85.9	12,638	-					
		利用料金収入	0	-	0			-	自主事業以外のコスト	1,289	108.6	1,187	-					
		自主事業収入	0	-	0			-	自主事業のコスト	0	-	0	-					
		その他収入	12	1200.0	1			-	人に係るコスト	5,708	103.5	5,513	-					
収入合計⑦	74,853	73.5	101,870	-	支出合計⑩	25,422	28.3	89,871	-									
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	0	-	28.工事請負費・修繕費	3,422	5.3	64,726	-									
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	52,361	65.8	79,585	-	31. 市負担	市負担額⑪(⑧-①+⑥)	△ 22,287	△ 168.4	13,234	-								
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	4,652	157.8	2,948	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	△ 88	△ 595.3	15	-									
32.施設所管課	建築住宅課				33.施設主管課	建築住宅課												

(2)施設評価シート

1.台帳番号	5390	3.利用用途別分類	市営住宅等施設																														
2.施設名	池内団地	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																														
	品質評価の評価(偏差値)		42.6																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.8																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>41.600 年</td> <td>40.1</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>0.200 件</td> <td>56.2</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>53.5</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>2.000 点</td> <td>24.8</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.200 件</td> <td>38.2</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	41.600 年	40.1	29.300 年	劣化度数(棟平均)	0.200 件	56.2	1.500 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	クレーム点数	2.000 点	24.8	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.200 件	38.2	0.700 件	評価値		42.6			
		評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	41.600 年	40.1	29.300 年																												
		劣化度数(棟平均)	0.200 件	56.2	1.500 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点																												
		クレーム点数	2.000 点	24.8	4.500 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	2.200 件	38.2	0.700 件																														
評価値		42.6																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月あたり入居戸数</td> <td>189.000 戸</td> <td>62.4</td> <td>67.000 戸</td> </tr> <tr> <td>入居率</td> <td>68.000 %</td> <td>35.9</td> <td>85.600 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>49.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	月あたり入居戸数	189.000 戸	62.4	67.000 戸	入居率	68.000 %	35.9	85.600 %	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量				評価値		49.2	
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																														
月あたり入居戸数	189.000 戸	62.4	67.000 戸																														
入居率	68.000 %	35.9	85.600 %																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量																																	
評価値		49.2																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>△ 87.670 %</td> <td>51.4</td> <td>-69.561 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>△ 1.300 千円</td> <td>52.1</td> <td>0.767 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>△ 9.822 千円</td> <td>53.7</td> <td>-3.969 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>52.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	△ 87.670 %	51.4	-69.561 %	市負担額(ソフト)前年度比				建物1㎡当たりの市負担額	△ 1.300 千円	52.1	0.767 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	△ 9.822 千円	53.7	-3.969 千円	評価値		52.4					
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																														
市負担割合	△ 87.670 %	51.4	-69.561 %																														
市負担額(ソフト)前年度比																																	
建物1㎡当たりの市負担額	△ 1.300 千円	52.1	0.767 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	△ 9.822 千円	53.7	-3.969 千円																														
評価値		52.4																															
品質評価の分布図																																	
供給評価・財務評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	5390	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	池内団地	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	品質評価については平均点未滿だが、供給・財務評価については平均点以上である。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数(棟平均)、クレーム点数 【原因】建築後、相当年数が経っている 【評価指標】バリアフリー未対応(棟平均) 【原因】対応した建て方をしていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】稼働率 【原因】修繕予定のため入居していない部屋が一定数ある	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全域に住宅困窮者に低廉な家賃で住宅を提供するための市営住宅が点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団大宮分団第4部消防団車庫、宮崎市消防団瓜生野分団第1部消防団車庫、宮崎市平 和ヶ丘児童センター、池内小学校、平和が丘団地、東町街区公園、南街区公園、平和が丘公園、西 町街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	市営住宅(平和が丘団地)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	県営住宅(池内団地、平和ヶ丘団地)	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	団地周辺部にバス停が存在している。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】54.2億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	5390	利用用途別分類	市営住宅等施設
施設名	池内団地	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市公営住宅等長寿命化計画において団地別・住棟別の活用方針を定め、適正な戸数管理や将来にわたる事業費の平準化を踏まえながら、建物の長寿命化を推進することによりライフサイクルコストの縮減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	宮崎市公営住宅等長寿命化計画の住棟別判定の結果、建物の耐用年限を迎えておらず個別修繕で対応可能なため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	従来型の直接建設方式による建て替えだけでなく、民間賃貸住宅の借上げやPFI事業等も含め、事業手法のあり方について検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	市営住宅については、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供することを目的としており、継続して建物を使用するため機能の評価も継続とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	市営住宅の効率的な管理運営と入居者へのサービス向上のために導入した指定管理制度(平成28年度開始)により、経費の削減及び収納率の向上を図る。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		4590		3.利用用途別分類		学校教育児童福祉施設								
2.施設名		池内小学校		4.利用圏域別分類		地域								
5.所在地(町名・番地)		池内町508		15.設置根拠法令		学校教育法、小学校設置基準								
6.バス停		平和が丘団地入口(210m)		16.設置条例		宮崎市立学校条例								
7.開設年月日		昭和46年4月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観										
9.指定管理期間														
10.用途地域		第二種中高層住居専用地域			19. 内部									
11.財産区分		公共用												
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		昭和46年設置。校舎等は、主に昭和46～58年建築の鉄筋コンクリート造3階建である。北校舎は平成10年、南校舎は平成12年に大規模改修を行っている。屋内運動場は、昭和50年建築の鉄骨造平屋建てで老朽化が進んでおり、平成9年に木造平屋建のトイレを増築した。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には平和が丘団地と田畑が広がる地域がある。近年の児童数は減少傾向にある。												
13.主な利用者		児童		20.避難所の指定(標高)		指定避難所 26.80 m								
14.利用者駐車可能台数		0台		21.投票所の指定		無								
22. 土地情報	土地面積		18,315.03 m ²				24. 建物情報		総延床面積		4,912.35 m ²			
	現況地目		学校用地						取得価額計(開始時簿価計)		-		(一)	
	土地所有形態		所有						階数・構造(主たる建物)		地上3階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積		0.00 m ²						建築年(主たる建物)		1971年			
23. 利用情報	(区分・単位)		令和2年度		平成31年度		法定点検(主たる建物)		対象					
			人	前年比%	人	前年比%	建物所有状況		市有物件					
	生徒数		264	95.0	278	-	借受面積		0.00 m ²					
	利用率		-	-	-	-	耐震対応(主たる建物)		対応済					
未利用スペース		0 m ²												
25. 収入	(区分・単位)		令和2年度		平成31年度		(区分・単位)		令和2年度		平成31年度			
			千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)		25,382	158637.5	16	-	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		133,164	176.8	75,308	-		
	使用料(減免後)②		12	100.0	12	-	施設のコスト		124,311	187.5	66,315	-		
	その他③		25,370	634250.0	4	-	事業のコスト		0	-	0	-		
	《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-	人に係るコスト		8,853	98.4	8,993	-		
	指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-	指定管理者の支出計⑨		0	-	0	-		
	指定管理料⑥		0	-	0	-	施設のコスト		0	-	0	-		
	利用料金収入		0	-	0	-	自主事業以外のコスト		0	-	0	-		
	自主事業収入		0	-	0	-	自主事業のコスト		0	-	0	-		
その他収入		0	-	0	-	人に係るコスト		0	-	0	-			
収入合計⑦		25,382	158637.5	16	-	支出合計⑩		133,164	176.8	75,308	-			
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		0		-		28.工事請負費・修繕費		93,997	166.4	56,503	-			
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		25,382	158637.5	16	-	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		107,782	143.2	75,292	-			
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)		0		-		市負担割合(%) (⑪÷⑩)		81	81.0	100	-			
32.施設所管課		学校施設課		33.施設主管課		学校施設課								

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4590	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	池内小学校	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																												
	品質評価の評価(偏差値)		49.0																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		42.0																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>46.400 年</td> <td>36.3</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>52.4</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.700 点</td> <td>48.3</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.0</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.300 件</td> <td>53.2</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>49.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	46.400 年	36.3	29.300 年	劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.4	1.500 件	耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.3	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	53.2	0.700 件	評価値		49.0	
			評価指標	令和2年度	偏差値	平均																									
			築年数(棟平均)	46.400 年	36.3	29.300 年																									
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	52.4	1.500 件																									
			耐震対応(棟平均)	4.700 点	48.3	4.800 点																									
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点																									
バリアフリー未対応(棟平均)	0.300 件	53.2	0.700 件																												
評価値		49.0																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>264.000 人</td> <td>42.5</td> <td>447.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.002</td> <td>43.6</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>43.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	生徒数	264.000 人	42.5	447.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.002	43.6	0.009	評価値		43.1				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
生徒数	264.000 人	42.5	447.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.002	43.6	0.009																												
評価値		43.1																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>80.940 %</td> <td>39.6</td> <td>61.983 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>73.400 %</td> <td>54.4</td> <td>110.170 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>21.940 千円</td> <td>34.2</td> <td>11.284 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>408.265 千円</td> <td>34.8</td> <td>175.485 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>40.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	80.940 %	39.6	61.983 %	市負担額(ソフト)前年度比	73.400 %	54.4	110.170 %	建物1㎡当たりの市負担額	21.940 千円	34.2	11.284 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	408.265 千円	34.8	175.485 千円	評価値		40.8				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
市負担割合	80.940 %	39.6	61.983 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	73.400 %	54.4	110.170 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	21.940 千円	34.2	11.284 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	408.265 千円	34.8	175.485 千円																												
評価値		40.8																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価・財務評価の分布図																														
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

(2)施設評価シート

		令和3年度施設評価	令和3年度
台帳番号	4590	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	池内小学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	昭和46～58年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。また、児童数が少ないため供給評価が低く、収入が少ないことから財務評価も低くなっている。よって、全体の評価値が平均点未満となっている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】校舎の築年数が40年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】利用率、市負担額千円当たりの利用量 【原因】児童数が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合、建物1㎡当たりの市負担額、利用量当たりの市負担額 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、市負担額は高くなるが、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	池内団地、宮崎市平和が丘児童プール、東町街区公園、池内小学校(給食室)、平和が丘団地、西町街区公園、消防局平和台無線中継局舎、南街区公園、平和が丘児童センター、宮崎市消防団大宮分団第4部消防団車庫	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大宮地域事務所、宮崎市北部老人福祉センター・宮崎市青少年プラザ、宮崎市平和が丘児童センター、池内団地、平和が丘団地、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市大宮公民館、池内小学校(給食室)、大宮小学校(給食室)、宮崎市平和が丘児童プール、大宮小学校ほか1施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道宮崎高鍋線の平和ヶ丘入口交差点(三叉路)を西に曲がり、すぐの交差点を市道平和ヶ丘6号線を南へ約150mのところのところに位置し、最寄のバス停留所は、県道沿いの「平和ヶ丘団地入口」。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】14.3億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4590	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	池内小学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、普通教室への空調設備導入による光熱水費の増加が見込まれるため、新電力の導入を検討し、維持管理費の削減を図る。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		4650		3.利用用途別分類		学校教育児童福祉施設				
2.施設名		大宮小学校		4.利用圏域別分類		地域				
5.所在地(町名・番地)		下北方町849		15.設置根拠法令		学校教育法、小学校設置基準				
6.バス停		南花ヶ島(370m)		16.設置条例		宮崎市立学校条例				
7.開設年月日		明治25年9月22日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観						
9.指定管理期間										
10.用途地域		第二種中高層住居専用地域								
11.財産区分		公共用		19. 内部						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		明治25年設置。現在の校舎等は主に昭和43年～53年建築の鉄筋コンクリート造2～3階建である。北校舎は老朽化のため平成22年に鉄骨造2階建から鉄筋コンクリート造2階建に改築した。屋内運動場は、昭和49年建築の鉄骨造平屋建で老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には市街地北部の住宅街と商業地がある。児童数は近年横ばい傾向にある。								
13.主な利用者		児童		20.避難所の指定(標高)		指定避難所 8.30 m				
14.利用者駐車可能台数		0台		21.投票所の指定		有				
22. 土地情報	土地面積	10,047.74 m ²				24.建物情報		総延床面積	6,571.15 m ²	
	現況地目	学校用地						取得価額計(開始時簿価計)	3172千円 (－)	
	土地所有形態							階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート	
	借受面積	0.00 m ²						建築年(主たる建物)	2010年	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度				法定点検(主たる建物)	対象	
		人	前年比%	人	前年比%			建物所有状況	市有物件	
	生徒数	900	95.6	941	－			借受面積	0.00 m ²	
	利用率	－	－	－	－			耐震対応(主たる建物)	対応済	
								未利用スペース	0 m ²	
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	35,817	17819.4	201	－	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	181,246	209.4	86,575	－
	使用料(減免後)②	3	75.0	4	－	施設のコスト	159,993	238.5	67,082	－
	その他③	35,814	18179.7	197	－	事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	0	－	0	－	人に係るコスト	21,253	109.0	19,493	－
	指定管理者の収入計⑤	0	－	0	－	指定管理者の支出計⑨	0	－	0	－
	指定管理料⑥	0	－	0	－	施設のコスト	0	－	0	－
	利用料金収入	0	－	0	－	自主事業以外のコスト	0	－	0	－
	自主事業収入	0	－	0	－	自主事業のコスト	0	－	0	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	0	－	0	－	
収入合計⑦	35,817	17819.4	201	－	支出合計⑩	181,246	209.4	86,575	－	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	－	0	－	28.工事請負費・修繕費	92,935	194.1	47,887	－	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	35,817	17819.4	201	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	145,429	168.4	86,374	－	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	－	0	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	80	80.4	100	－	
32.施設所管課	学校施設課			33.施設主管課	学校施設課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4650	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	大宮小学校	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A																												
	品質評価の評価(偏差値)		50.3																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.4																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>36.800 年</td> <td>44.0</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>1.100 件</td> <td>51.9</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.600 点</td> <td>46.5</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.0</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.200 件</td> <td>53.9</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>50.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	36.800 年	44.0	29.300 年	劣化度点数(棟平均)	1.100 件	51.9	1.500 件	耐震対応(棟平均)	4.600 点	46.5	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.200 件	53.9	0.700 件	評価値		50.3	
			評価指標	令和2年度	偏差値	平均																									
			築年数(棟平均)	36.800 年	44.0	29.300 年																									
			劣化度点数(棟平均)	1.100 件	51.9	1.500 件																									
			耐震対応(棟平均)	4.600 点	46.5	4.800 点																									
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点																									
バリアフリー未対応(棟平均)	0.200 件	53.9	0.700 件																												
評価値		50.3																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>900.000 人</td> <td>68.6</td> <td>447.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.006</td> <td>47.5</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>58.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	生徒数	900.000 人	68.6	447.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.006	47.5	0.009	評価値		58.1				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
生徒数	900.000 人	68.6	447.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.006	47.5	0.009																												
評価値		58.1																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>80.240 %</td> <td>39.9</td> <td>61.983 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>136.400 %</td> <td>46.8</td> <td>110.170 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>22.705 千円</td> <td>33.0</td> <td>11.284 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>161.588 千円</td> <td>50.9</td> <td>175.485 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	80.240 %	39.9	61.983 %	市負担額(ソフト)前年度比	136.400 %	46.8	110.170 %	建物1㎡当たりの市負担額	22.705 千円	33.0	11.284 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	161.588 千円	50.9	175.485 千円	評価値		42.7				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
市負担割合	80.240 %	39.9	61.983 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	136.400 %	46.8	110.170 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	22.705 千円	33.0	11.284 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	161.588 千円	50.9	175.485 千円																												
評価値		42.7																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価・財務評価の分布図																														
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

(2) 施設評価シート

		令和3年度施設評価	令和3年度
台帳番号	4650	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	大宮小学校	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	収入が少ないことから財務評価が低くなっているが、供給・財務の評価値としては平均点を超えている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】校舎及び屋内運動場の築年数が35年を超えており、さらにその一部は45年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】PFI事業による空調整備工事により、市負担額が大幅に増大したため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担割合、市負担額(ソフト)前年度比、建物1㎡当たりの市負担額 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、市負担額は高くなるが、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、私立中学校が6校設置されている。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	大宮小学校(給食室)、児童クラブ(大宮小学校)、宮崎市自動車排出ガス測定局大宮小学校測定局、東大宮小学校、東大宮小学校(給食室)、児童クラブ(東大宮小学校)、大宮中学校、宮崎市大宮公民館、宮崎市大宮地域事務所、下北方通線排水機場、宮崎市消防団大宮分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団大宮分団第7部消防団車庫、宮崎市消防団大宮分団第9部消防団車庫、花ヶ島南街区公園、矢の先街区公園、神宮ふれあい広場	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市大宮地域事務所、宮崎市北部老人福祉センター・宮崎市青少年プラザ、宮崎市平和が丘児童センター、池内団地、平和が丘団地、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市大宮公民館、池内小学校(給食室)、大宮小学校(給食室)、宮崎市平和が丘児童プール、池内小学校ほか1施設	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号北バイパスの大宮歩道橋交差点北西沿いに位置しており、最寄のバス停留所は、旧国道10号沿いの「南花ヶ島」。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030-2090年代 【建て替えの事業費(概算)】19.4億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4650	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	大宮小学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、普通教室への空調設備導入による光熱水費の増加が見込まれるため、新電力の導入を検討し、維持管理費の削減を図る。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		4660		3.利用用途別分類		学校教育児童福祉施設				
2.施設名		大宮中学校		4.利用圏域別分類		地域				
5.所在地(町名・番地)		下北方町5945		15.設置根拠法令		学校教育法、中学校設置基準				
6.バス停		東矢の先(240m)		16.設置条例		宮崎市立学校条例				
7.開設年月日		昭和22年5月8日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する				
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観						
9.指定管理期間										
10.用途地域		第一種低層住居専用地域								
11.財産区分		公共用		19. 内部						
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		昭和22年設置。現在の校舎等は主に昭和32～55年建築の鉄筋コンクリート造3階建である。南校舎は平成12年に大規模改修を行った。屋内運動場は、昭和40年建築の鉄骨造平屋建で、老朽化が進んでいる。当校は災害時の避難所に指定されている。通学区域には住宅地、平和が丘団地、田畑が広がる地域がある。近年の生徒数は横ばい傾向にある。								
13.主な利用者		生徒		20.避難所の指定(標高)		指定避難所 14.40 m				
14.利用者駐車可能台数		0台		21.投票所の指定		無				
22. 土地情報	土地面積	23,147.01 m ²				24. 建物情報		総延床面積	7,292.35 m ²	
	現況地目	学校用地						取得価額計(開始時簿価計)	— (—)	
	土地所有形態	所有						階数・構造(主たる建物)	地上3階・RC・鉄筋コンクリート	
	借受面積	0.00 m ²						建築年(主たる建物)	1970年	
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度				法定点検(主たる建物)	対象	
		人	前年比%	人	前年比%			建物所有状況	市有物件	
	生徒数	505	106.3	475	—			借受面積	0.00 m ²	
	利用率	—	—	—	—			耐震対応(主たる建物)	対応済	
								未利用スペース	0 m ²	
25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度		(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	30,950	429.1	7,213	—	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	89,976	209.0	43,047	—
	使用料(減免後)②	3	100.0	3	—	施設のコスト	81,123	261.2	31,054	—
	その他③	30,947	429.2	7,210	—	事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—	人に係るコスト	8,853	73.8	11,993	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—	施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—	
収入合計⑦	30,950	429.1	7,213	—	支出合計⑩	89,976	209.0	43,047	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	36,248	190.6	19,016	—	
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	30,950	429.1	7,213	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	59,026	164.7	35,834	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	66	78.8	83	—	
32.施設所管課	学校施設課			33.施設主管課	学校施設課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	4660	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	大宮中学校	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		48.9																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		51.1																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>48.100 年</td> <td>34.9</td> <td>29.300 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>0.800 件</td> <td>53.3</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.600 点</td> <td>46.5</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.0</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.100 件</td> <td>54.7</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>48.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	48.100 年	34.9	29.300 年	劣化度点数(棟平均)	0.800 件	53.3	1.500 件	耐震対応(棟平均)	4.600 点	46.5	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.100 件	54.7	0.700 件	評価値		48.9	
			評価指標	令和2年度	偏差値	平均																									
			築年数(棟平均)	48.100 年	34.9	29.300 年																									
			劣化度点数(棟平均)	0.800 件	53.3	1.500 件																									
			耐震対応(棟平均)	4.600 点	46.5	4.800 点																									
			クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点																									
バリアフリー未対応(棟平均)	0.100 件	54.7	0.700 件																												
評価値		48.9																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数</td> <td>505.000 人</td> <td>52.4</td> <td>447.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.009</td> <td>49.9</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	生徒数	505.000 人	52.4	447.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.009	49.9	0.009	評価値		51.2				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
生徒数	505.000 人	52.4	447.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.009	49.9	0.009																												
評価値		51.2																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和2年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>65.600 %</td> <td>48.0</td> <td>61.983 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>135.400 %</td> <td>47.0</td> <td>110.170 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>8.123 千円</td> <td>54.7</td> <td>11.284 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>116.883 千円</td> <td>53.8</td> <td>175.485 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>50.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	市負担割合	65.600 %	48.0	61.983 %	市負担額(ソフト)前年度比	135.400 %	47.0	110.170 %	建物1㎡当たりの市負担額	8.123 千円	54.7	11.284 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	116.883 千円	53.8	175.485 千円	評価値		50.9				
評価指標	令和2年度	偏差値	平均																												
市負担割合	65.600 %	48.0	61.983 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	135.400 %	47.0	110.170 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	8.123 千円	54.7	11.284 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	116.883 千円	53.8	175.485 千円																												
評価値		50.9																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															
供給評価・財務評価の分布図																															
供給評価(横) / 財務評価(縦)																															

(2)施設評価シート

		令和3年度施設評価		令和3年度
台帳番号	4660	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設	
施設名	大宮中学校	利用圏域別分類	地域	
1	基礎評価の分析(総括)	昭和32～55年に建設された施設のため、老朽化により品質評価が低い。よって、品質の評価値が平均点未満となっている。		
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均) 【原因】一部の校舎、及び屋内運動場の築年数が35年を超えており、さらにその一部は50年を超えているため。 ②【評価指標】耐震対応(棟平均) 【原因】耐震改修の実施により、すべての校舎・屋体は耐震基準を満たしているが、小規模の倉庫など耐震診断を実施していない建物があるため。		
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】校舎屋根防水改修事業等により、市負担額が増大したため。		
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合、市負担額(ソフト)前年度比 【原因】学校施設における収入は、補助金を除くと少額なものに限られるため、市負担額は高くなるが、各学校間における実質的な差違はほとんど認められない。		
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小学校が47校、市立中学校が25校、国立大附属小・中学校が各1校、私立中学校が6校設置されている。		
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市消防団大宮分団第6部消防団車庫、祇園街区公園、宮崎市大宮地域事務所、宮崎市大宮公民館、下北方街区公園、矢の先街区公園、神宮ふれあい広場、宮崎市消防団大宮分団第9部消防団車庫、児童クラブ(大宮小学校)、大宮小学校、大宮小学校(給食室)		
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大宮地域事務所、宮崎市北部老人福祉センター・宮崎市青少年プラザ、宮崎市平和が丘児童センター、池内団地、平和が丘団地、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市大宮公民館、池内小学校(給食室)、大宮小学校(給食室)、宮崎市平和が丘児童プール、池内小学校ほか1施設		
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし		
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所		
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道宮崎高鍋線の矢の先交差点の北約100m地点の交差点を西へ平和台公園方面に約160mのところに位置し、最寄のバス停留所は、「平和台」「東矢の先」。		
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治体(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)		
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030-2080年代 【建て替えの事業費(概算)】21.2億円程度		
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	4660	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	大宮中学校	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。なお、宮崎市学校施設長寿命化計画に基づき適正に施設を管理しながら、長寿命化を図り財政負担の軽減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	概ね適切な維持管理がなされているため継続とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外るとき	劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、適正に管理しながら施設の長寿命化を進め、財政負担の軽減を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	小中学校は、義務教育を行うための施設というだけでなく、地域コミュニティの中核を担う重要な役割も有しているため。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外るとき	施設の省エネルギー化を促進する。また、普通教室への空調設備導入による光熱水費の増加が見込まれるため、新電力の導入を検討し、維持管理費の削減を図る。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号		8410		3.利用用途別分類		学校教育児童福祉施設					
2.施設名		児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)		4.利用圏域別分類		地域					
5.所在地(町名・番地)		下北方町849		15.設置根拠法令		児童福祉法第34条の8					
6.バス停		南花ヶ島(410m)		16.設置条例							
7.開設年月日		平成05年6月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)		委託		18. 外観							
9.指定管理期間											
10.用途地域		第二種中高層住居専用地域			19. 内部						
11.財産区分		公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		就労や病気等により、保護者が放課後に家庭で面倒をみるできない小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健やかな成長を促すことを目的として、設置された。									
13.主な利用者		小学校に在学する1年生から6年生の放課後児童		20.避難所の指定(標高)		— 8.30 m					
14.利用者駐車可能台数		0台		21.投票所の指定		無					
22. 土地情報	土地面積		227.93 m ²		総延床面積		227.93 m ²				
	現況地目		学校用地		取得価額計(開始時簿価計)		— (—)				
	土地所有形態		所有		階数・構造(主たる建物)		地上1階・LG・軽量鉄骨				
	借受面積		0.00 m ²		建築年(主たる建物)		1993年				
23. 利用情報	(区分・単位)		令和2年度		平成31年度						
			人	前年比%	人	前年比%					
	実人員		1,103	97.4	1,132	—					
	開館月数		12	100.0	12	—					
利用率		1	100.0	1	—						
				24. 建物情報		法定点検(主たる建物)		未対象			
						建物所有状況		市有物件			
						借受面積		0.00 m ²			
						耐震対応(主たる建物)		対応済			
						未利用スペース		0 m ²			
25. 収入	(区分・単位)		令和2年度		平成31年度						
			千円	前年度比%	千円	前年度比%					
	市の収入計① (②+③)		10,776	96.4	11,184	—					
	使用料(減免後)②		2,009	98.2	2,045	—					
	その他③		8,767	95.9	9,139	—					
	《参考》 使用料減免額④		636	97.8	650	—					
	指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—					
	指定管理料⑥		0	—	0	—					
	利用料金収入		0	—	0	—					
	自主事業収入		0	—	0	—					
その他収入		0	—	0	—						
収入合計⑦		10,776	96.4	11,184	—						
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		24	99.7	24	—						
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		10,776	96.4	11,184	—						
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)		0	—	0	—						
				26. 支出		(区分・単位)		令和2年度		平成31年度	
								千円	前年度比%	千円	前年度比%
						市の支出計⑧ (指定管理料除く)		16,244	101.1	16,070	—
						施設のコスト		61	3.1	1,968	—
						事業のコスト		15,433	115.6	13,352	—
						人に係るコスト		750	100.0	750	—
						指定管理者の支出計⑨		0	—	0	—
						施設のコスト		0	—	0	—
						自主事業以外のコスト		0	—	0	—
						自主事業のコスト		0	—	0	—
						人に係るコスト		0	—	0	—
						支出合計⑩		16,244	101.1	16,070	—
28.工事請負費・修繕費		36		13.4		268					
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		5,468		111.9		4,886					
31. 市負担割合(%) (⑪÷⑩)		34		110.7		30					
32.施設所管課		生涯学習課		33.施設主管課		生涯学習課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8410	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		54.4			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.5			
①品質評価	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	25.400 年	53.1	29.300 年	
		劣化度点数(棟平均)	0.500 件	54.8	1.500 件	
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点	
		クレーム点数	5.000 点	55.0	4.500 点	
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件	
		評価値		54.4		
②供給評価	市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			月あたり人数	92.000 人	52.7	85.000 人
			定員充足率	109.400 %	51.8	107.700 %
			建物1㎡当たりの利用率			
			建物1㎡当たりの利用率			
			土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.202	44.2	0.257	
		評価値		49.6		
③財務評価	利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			市負担割合	33.660 %	50.9	33.946 %
			市負担額(ソフト)前年度比	117.600 %	69.1	177.164 %
			建物1㎡当たりの市負担額	23.990 千円	58.9	30.431 千円
			土地1㎡当たりの市負担額			
			利用量当たりの市負担額	4.957 千円	42.5	4.216 千円
		評価値		55.4		
品質評価の分布図						
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価		令和3年度
台帳番号	8410	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標A】①利用児童数に応じて職員配置人数が決まっており、利用児童数によっては、平均的な児童クラブに比較して、利用児童1人当たりの人件費が高いことで市負担額千円当たりの利用量が少なくなり、供給の評価が低い。②児童クラブの定員は面積に応じて決まっているのに加え、①と同様の理由で、建物1㎡当たりの人件費が高くなることで、建物1㎡当たりの市負担額が高くなり、財務の評価が低い。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量 【原因】利用児童数に応じて職員配置人数が決まっており、利用児童数によっては、平均的な児童クラブに比較して、利用児童1人当たりの人件費が高くなる。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】利用量当たりの市負担額 【原因】利用児童数に応じて職員配置人数が決まっている事や、児童クラブの定員は面積に応じて決まっているため、利用量当たりの人件費が高くなる。
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ利用用途の施設(児童クラブ)が市内45小学校区に点在している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	大宮小学校、大宮小学校(給食室)、宮崎市自動車排出ガス測定局・大宮小学校測定局、児童クラブ(東大宮小学校・敷地内・敷地外)、神宮ふれあい広場、大宮中学校、宮崎市大宮公民館、宮崎市大宮地域事務所、矢の先街区公園、花ヶ島南街区公園、東大宮小学校、東大宮小学校(給食室)
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	大宮小学校、大宮小学校(給食室)、大宮中学校、東大宮小学校、東大宮小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	市道花ヶ島通線沿いにあるバス停南花ヶ島から西に約410mの大宮小学校敷地内に位置している。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040-2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②ほとんどの自治体において、同じ用途の施設があり、行政の負担割合は自治体によって様々である。

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	8410	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、建物の将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、利用者負担金の見直しを検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	供給評価において、定員充足率の評価が低い、就学児童数は増加傾向にあり、将来的に充足率が高くなる見込みがある。財務評価において、市負担額(ソフト)前年度比の評価が低い、利用児童数の増減に応じた職員の適正配置による市負担額であり、市負担額の大幅な見直しは難しい。品質評価は平均点以上であり、児童の放課後の居場所を確保する観点からも現サービスの継続を前提として、建物を継続する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な維持・修繕を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	保護者が就労等のため、放課後に家庭で面倒を見ることのできない小学校就学児童に、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を目的として児童クラブを開設している。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	運営費等の見直しを行い、市負担額の削減に努める。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号	8980	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	池内小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	池内町508	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	平和が丘団地入口(210m)	16.設置条例			
7.開設年月日	平成14年12月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条。令和2年度から調理等は、民間に委託。				
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 26.80 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	189.00 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	292	95.1	307	—
	開館日数	181	101.7	178	—
	利用率	2	94.1	2	—
24. 建物情報	総延床面積	189.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	39165千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	2002年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	13,703	63.9	21,438	—
	施設のコスト	2,432	111.2	2,188	—
	事業のコスト	10,489	1208.4	868	—
	人に係るコスト	782	4.3	18,382	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	13,703	63.9	21,438	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	385	200.5	192	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	13,703	63.9	21,438	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	保健給食課		33.施設主管課	保健給食課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	8980	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	池内小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		51.6			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.7			
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	18.000 年	59.1	29.300 年
			劣化度数(棟平均)	4.000 件	38.1	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	点		点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
			評価値	51.6		
②供給評価	利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			利用率	2.000 人・食	44.5	4.000 人・食
			建物1㎡当たりの利用率	0.009 人	43.9	0.013 人
			建物1㎡当たりの利用率	台		台
			土地1㎡当たりの利用率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	0.021	46.2	0.025
			評価値	44.9		
③財務評価		指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	62.700 %	74.8	104.318 %
			建物1㎡当たりの市負担額	72.503 千円	55.3	89.159 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	46.928 千円	51.5	53.849 千円
			評価値	60.5		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	8980	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	池内小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価では品質・財務は平均を上回り、食数が平均食数より少ないため、供給は平均を下回っている。調理洗浄業務の民間委託を既に行っており効率的な運営を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均)【原因】外壁、天井、内壁、床等の部分的な修繕は影響が大きい劣化からスポット的に対応している。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】利用率【原因】平均食数694より食数小 ②【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】食数292 ③【評価指標】市負担額千円当たりの利用率【原因】食数292	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27校配送)が設置されている。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大宮地域事務所、宮崎市北部老人福祉センター、宮崎市青少年プラザ、宮崎市平和が丘児童センター、池内団地、平和が丘団地、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市大宮公民館、池内小学校、大宮小学校(給食室)、宮崎市平和が丘児童プール、大宮小学校ほか1施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大宮地域事務所、宮崎市北部老人福祉センター、宮崎市青少年プラザ、宮崎市平和が丘児童センター、池内団地、平和が丘団地、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市大宮公民館、池内小学校、大宮小学校(給食室)、宮崎市平和が丘児童プール、大宮小学校ほか1施設	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道宮崎高鍋線の平和が丘入口交差点(三叉路)を西に曲がり、すぐの交差点を市道平和が丘6号線を南へ約150mのところを位置し、最寄のバス停留所は、県道沿いの「平和が丘団地入口」。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治体(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】0.5億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。	

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	8980	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	池内小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点を下回っている項目もあるが、施設使用に問題はなく、現サービスを継続し、計画的な維持補修を行う。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	平均食数より食数が少ないため、供給は平均を下回っているが、当該地域においては、教育・防災機能の一端を担う重要な施設であることから、今後は効率的な経営の実現に努めながら本施設での学校給食機能を継続する。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の節減に努める。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

令和3年度

1.台帳番号	9040	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	大宮小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	下北方町849	15.設置根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校給食法		
6.バス停	南花ヶ島(340m)	16.設置条例			
7.開設年月日	昭和54年3月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	委託	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	学校給食法第1条。平成24年度から調理等は、民間に委託。				
					
13.主な利用者	児童生徒、調理員	20.避難所の指定(標高)	— 8.30 m		
14.利用者駐車可能台数	0台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	20,082.00 m ²			
	現況地目	学校用地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	956	95.4	1,002	—
	開館日数	184	102.2	180	—
	利用率	5	92.9	6	—
24. 建物情報	総延床面積	211.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	26590千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1979年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	未対応			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		0	—	0	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		0	—	0	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	0	—	0	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和2年度		平成31年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	30,609	150.0	20,408	—
	施設のコスト	14,928	295.6	5,050	—
	事業のコスト	14,899	102.2	14,576	—
	人に係るコスト	782	100.0	782	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	30,609	150.0	20,408	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—	—	—	—	
28.工事請負費・修繕費	440	120.5	365	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	0	—	0	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	0	—	0	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	30,609	150.0	20,408	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	100	100.0	100	—
32.施設所管課	保健給食課	33.施設主管課	保健給食課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	9040	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設			
2.施設名	大宮小学校(給食室)	4.利用圏域別分類	地域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満				D	
	品質評価の評価(偏差値)				49.1	
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)				47.8	
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	42.000 年	39.8	29.300 年
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	47.6	1.500 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
			クレーム点数	点		点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.5	0.700 件
			評価値	49.1		
② 供給評価		指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			利用率	5.000 人・食	53.7	4.000 人・食
			建物1㎡当たりの利用率	0.025 人	68.4	0.013 人
			建物1㎡当たりの利用率	台		台
			土地1㎡当たりの利用率	人		人
			市負担額千円当たりの利用率	0.031	55.3	0.025
			評価値	59.1		
③ 財務評価	市負担額(ソフト)前年比の評価がきわめて低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和2年度	偏差値	平均
			市負担割合	100.000 %	-	- %
			市負担額(ソフト)前年度比	150.500 %	22.5	104.318 %
			建物1㎡当たりの市負担額	145.066 千円	32.1	89.159 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用率当たりの市負担額	32.018 千円	54.7	53.849 千円
			評価値	36.4		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価		令和3年度
台帳番号	9040	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	大宮小学校(給食室)	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	基礎評価の品質では平均を下回っている項目もあるが、食数も多く、調理洗浄業務の民間委託を既に実施しており効率的な運営を行っている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】昭和54年建築 ②【評価指標】劣化度点数(棟平均)【原因】外壁や天井、床等の部分的な修繕は影響が大きい劣化からスポット的に対応している
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比 【原因】空調機器リース及び大型厨房機器の一部更新 ②【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】空調機器リース及び大型厨房機器の一部更新
5	定性的な要素の分析(総括)	市全体で、市立小中学校に単独調理場が45場(45校)、給食センターが5センター(27校配送)が設置されている。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	大宮小学校、児童クラブ(大宮小学校)、東大宮小学校、東大宮小学校(給食室)、児童クラブ(東大宮小学校)、大宮中学校、宮崎市大宮公民館、下北方通線排水機場、宮崎市消防団大宮分団第1部消防団車庫、宮崎市消防団大宮分団第7部消防団車庫、宮崎市消防団大宮分団第9部消防団車庫、花ヶ島南街区公園、矢の先街区公園、神宮ふれあい広場
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大宮地域事務所、宮崎市北部老人福祉センター・宮崎市青少年プラザ、宮崎市平和が丘児童センター、池内団地、平和が丘団地、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市大宮公民館、池内小学校(給食室)、大宮小学校、宮崎市平和が丘児童プール、池内小学校ほか1施設
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	炊き出し予定施設
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道10号北バイパスの大宮歩道橋交差点北西沿いに位置しており、最寄のバス停留所は、旧国道10号沿いの「南花ヶ島」。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】398,307人(令和2年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,521人(令和2年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.6億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	包括外部監査では特に指摘事項なし。

(2)施設評価シート

令和3年度施設評価			令和3年度
台帳番号	9040	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	大宮小学校(給食室)	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、将来の修繕費用を削減するため、計画的な保全により施設の長寿命化を図る。また「質の向上」の取り組みとして、学校給食調理等業務の民間委託により、安全で効率的な給食調理等業務の実施と経費の削減を図る。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
18	建物の評価の理由	基礎評価の品質では平均を下回っている項目もあるが、食数も多く、調理洗浄業務の民間委託を既 に実施しており効率的な運営を行っている。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外 のとき	計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
21	機能の評価の理由	基礎評価の財務では平均を下回っている項目もあるが、食数も多く、調理洗浄業務の民間委託を既 に実施しており効率的な運営を行っている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外 のとき	調理業務等の民間委託を継続し、効率的な運営と経費の節減に努める。	